



横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

週間トピックス Vol. 500 (2019. 10. 18)

<今週のトピックス>

『千と千尋の神隠し』 ネット配信開始

日本にとって、アニメは主要な輸出品の一つであり、海外でも広く受け入れられています。特にスタジオジブリ作品は、アカデミー賞、カンヌ映画祭、ベルリン国際映画祭等の世界の主要な映画祭で多数受賞しており、海外専門家の間でも評価が高いのは間違いありません。東京、三鷹の森ジブリ美術館には世界中からジブリのファンが集まっています。

では、アメリカでは、ジブリ作品の人気はどうでしょうか。

結論から言うと、ジブリ作品は人気があります。アニメファンだけでなく、アートや音楽、映画等に造形の深いアメリカ人の中にジブリ作品が好きだという人は多くいます。中でも、2003年の第75回アカデミー賞授賞式で、長編アニメ映画賞を受賞した『Spirited Away (千と千尋の神隠し)』の評判は非常に高いです。また、トトロは子供からもよく愛されているキャラクターです。

インターネット上のコミュニティでは、ディズニーVSスタジオジブリという議論もあり、ジブリの方がディズニーよりも人気があったという統計もあるようです。規模や知名度の面ではディズニーに及ばないが、それぞれの作品の完成度と、大人でも楽しめる深い物語性は海外でも多くの人を惹きつけてやまないのかもしれない。

10月17日、アメリカのメディア「ワーナーメディア」が、ジブリ作品21作品の放映権を取得したとの報道がありました。ワーナーが来春開始する動画サービス「HBO マックス」で配信される予定です。

これまで、ジブリ作品は、いかなる形でも合法的に視聴あるいはダウンロードができませんでした。それは、劇場で映画を鑑賞してほしいというスタジオジブリの意図的な方針でしたが、今回の放映権の獲得は、HBOの札束が長年抱かれていた信念を変えさせたのではないかとされています。映画館ではなく、ネット動画サービスで、気軽にジブリ作品を観ることができるようになるというのは、アメリカで新しい視聴者（ファン）を増やす良いきっかけになるのではないかと思います。

<NY タイムズが選ぶジブリ作品のランキング（トップ10）>

- 第1位 『Spirited Away（千と千尋の神隠し）』 （2001）
- 第2位 『Princess Mononoke（もののけ姫）』 （1997）
- 第3位 『My Neighbor Totoro（となりのトトロ）』 （1988）
- 第4位 『Porco Rosso（紅の豚）』 （1992）
- 第5位 『Castle in the Sky（天空の城ラピュタ）』 （1986）
- 第6位 『Howl's Moving Castle（ハウルの動く城）』 （2004）
- 第7位 『Pom Poko（平成狸合戦ぽんぽこ）』 （1994）
- 第8位 『Kiki's Delivery Service（魔女の宅急便）』 （1989）
- 第9位 『My Neighbors the Yamadas（ホーホケキョとなりの山田くん）』
（1999）
- 第10位 『Nausicaa of the Valley of the Wind（風の谷のナウシカ）』 （1984）

（出所：The New York Times、Newsweek）

- ・本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- ・本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- ・本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。